

いぬやま 地域つながる 事例紹介 Case study

協働の実例を
具体的に掲載！



協働プラザ
3つの事業連携



つながりひろがる 犬山Community

地	域	📍
資	源	👤
バ	ン	ク

フューチャーセッション@犬山

FUTURE SESSION @INUYAMA

創造的な語り場

市民活動 運賃力UP!
専門相談室

経験を積んだ
相談員が、あなたの
活動と熱意を
応援します!

犬山市民の主体的な活動を促進するため、市内の資源(人、もの、場所など)を共同で利用できるように、登録、有効活用する仕組みです。登録は個人でも団体でも出来ます。協働プラザでは提供者と利用者のマッチングをサポートしています。

犬山を舞台に何かをやってみたいと集まったメンバーが自由に語り合い、対話から新たな価値を生み出す創造的な語り場です。各回テーマを設け、そこに集う「いいね」「やろうよ」の思いが化学反応を起こすかのような活気があふれています。1人では出来なかったことが思いをつなげ実現していきます。

住みよい地域づくりや市民生活を豊かにする市民活動、地域活動などは地域課題解決や魅力創出のためには欠かせない、大切な活動です。私たちはその活動に対して、専門的な情報や地域資源の活用を提案を通して支援しています。今年度より毎月気軽に参加していただける事務局活動を支援する「ジムジム相談会」も開催しています。

協働マッチングレポート

特集

かまど

犬山焼

犬山伝統と暮らしを楽しむ会

いまいまい

犬山茶

パッケージ

かまどと土鍋で楽しむいまいまい

犬山焼「七代目作十郎」の尾関立志さんが代表となり、犬山市にある明善左官店、そして犬山の歴史建造物に魅了された名古屋市に住む設計士の集まりで構成された「糸車の会」と共に、犬山の歴史と伝統を多くの皆さんに伝え、暮らしの中楽しさを感じていただくことをテーマに「犬山・伝統と暮らしを楽しむ会」を結成。さらにフューチャーセッションを通じて知り合った犬山産のお米「いまいまい」を扱うIMIサークルと、日比野製茶さんの玄米茶ともコラボし、犬山焼の土鍋を使い、明善左官店の竈でいまいまいを炊いて頂くイベントを行いました。

今後の商品化に向けて

パッケージを検討する中で、やはり「犬山産」に拘りたいという思いから、日本紙工業(株)さんをお願い出来たらという意見が出たため、犬山商工会議所を通じて依頼し、現在話し合いが進められています。

プラザがサポートしたこと

明善左官店さんより犬山焼の土鍋を作ってくれるところを探しているとの相談を受け、地域資源バンクに登録のある尾関さんに相談を持ち掛け、一緒に検討しました。同時に市民活動団体への登録を案内し、市民活動助成金の申請もサポートしました。



今後は、他の団体・企業とのコラボも検討されているとのことです。

その後の展開

市民活動助成金を取得した犬山伝統と暮らしを楽しむ会は、2021年11月13日「ピクニックマルシェ」を開催しました。尾関作十郎陶房の裏庭で、犬山焼コラボのミニカップやピアマグカップの販売、ミニコンサート、キッチンカー出店、東之宮古墳めぐりと窯元めぐりツアーなど、犬山の歴史・伝統を間近で触れ合える有意義な場づくりをしました。令和4年度も市民活動助成金の申請を行い、犬山の伝統や産業とのコラボを通じ多様な暮らしを提案し、地元産業の活性化を若い世代にも呼びかけ、未来のまちづくり・地域づくりと一緒に考える仲間を増やしていく活動も行っていくとの事です。

協働マッチングレポート



今後も次のいっぽを
応援していきます！

vol.1

親子で畑活動

市民活動団体

おやこ農園

畑レンタル
&畑づくり

夢発心



おやこで無農薬野菜を育てたり、遊んだりすることによって、野菜の旬や安心安全な野菜について知り、自分たちで作ったものを自分たちで食べられる良さに気づき、食育に繋げていきたい。そんな思いで市民活動団体「おやこ農園」を立ち上げられた代表の玉置さんより、市内で畑活動を行える場所を探しているとの相談がありました。

話をお聞きすると、今井や栗栖などの里山エリアを希望していたため、フューチャーセッションにも参加されている夢発心の河本さんに相談したところ、快諾いただきお繋ぎすることが出来ました。

現在は栗栖で定期的に活動を始めており、「ひとりでは始めるにはハードルが高いけど、みんなでやれるからよかった！」と参加者からの声もあり、始めて良かったと玉置さんは嬉しそうに話してくださいました。来年度は、助成金にもチャレンジしたいとの事です。

その後の展開

おやこ農園さんは、栗栖の畑を借りてからは、お天気が良ければ毎週水曜日の10時半から1時間程度集まり、草取りや水やり、植ええや収穫などの作業を子どもたちと一緒にしているそうです。季節の野菜を育てながら、何でも遊びに変えてしまう子どもたちと、笑いの絶えない時間が流れているとお話でした。今はそれぞれのメンバーが家庭で食べる程度の収穫ですが、いずれは犬山市の給食に自分たちが作った安心安全な野菜を供給出来るような活動に発展させていきたいそうです。

vol.2

サッカーを通じて子どもの
健全育成

犬山北ロケット
サッカースポーツ
少年団

ストレッチ
筋トレ講座

理学療法士
ヨガインストラクター
間中 麻耶



犬山北ロケットサッカースポーツ少年団の役員の方より、団の夏イベント企画として、成長期の子もたちが、自分の身体の状態を知って怪我を防いだり、これからもっと技術を身につけていくために、子どもたち自身がストレッチや筋力トレーニングを学べるよう、教えてくれる講師を探しているとの相談がありました。

地域資源バンク登録者より、理学療法士でヨガインストラクターとしても活動をしている間中さんに相談したところ、すぐに引き受けていただき、コロナ対策を行ったうえで、講座が開かれました。

この講座では、子どもたちがこれからもサッカーを楽しく続けていくために、自分の骨と筋肉はどのように成長していくかを学んだそうです。実際に皆でストレッチを行い、身体の固いところや伸びているところを知ることでもでき、講座が終わった頃には、子どもたちから「身体が楽になった！」や、その後の練習の際に「今日は調子が良い気がする！」などストレッチの大切さも実感できたそうです。間中さんからは、「子どもたちがスポーツを続けられる身体を作ることが大前提です。成長期の自分の身体に向き合うことを体験してもらい、まだまだ成長する彼らの未来につながるように、祈るような思いで今回講座を行いました。」とお話を伺いました。

その後の展開

間中さんは、今回の講座終了後すぐに、会場内で子どもたちが自分の身体の変化を感じて楽しそうに手足を動かしジャンプしている姿を見て、とても嬉しかったそうです。引き続き、自分自身の身体の仕組みをよく知ることで、ケガをしにくい身体づくりが出来るサポート活動を続けていくと話されました。その後は、個別に筋トレやヨガの講師依頼があり、活動の幅も広がっているようです。講座の内容についてはご希望に添えるので、ご相談くださいとの事でした。



こどもたちの やりたいこと 実現プロジェクト

市民活動団体
犬てつ・未来会議



日常のなかで浮かび上がる疑問について、じっくり考え、楽しく話しあい、自分と相手の言葉に耳を傾ける「てつがく対話」を行う市民活動団体「犬てつ」さんより、今年度実施される事業の1つについて相談をいただきました。こどもたちが大人に与えられたプログラムを体験するのではなく、こどもたち自身がやってみたい事のアイデアを出し合い、それを実現するためにどうすればよいかを対話し、実現させるために動

みんなの 夢が集まる レンタルスペース

いぬやまハチ公園



く未来創造プロジェクトがあるそうで、その活動場所の案や、こどもたちが実際に事業を行う上でのリアルな話をしてくださる人を探されているとのことでした。

協働プラザより、地域資源バンクに登録されている、レンタルスペース「いぬやまハチ公園」を運営するハチカグ株式会社さんに相談したところ、地元の子もたちやママが夢を語り、夢にチャレンジする場所として活用してほしいとの話があり、犬てつさんのプロジェクトへの参画や、定期的な場所の確保に協力いただけることになりました。今後、いぬやまハチ公園さんの事業にも子どもたちの発想を活かす機会を検討していけたらという話もあり、地元事業者と子どもたちの協働が楽しみです。

その後の展開

今回のマッチングにより、犬てつ未来会議メンバーによる「犬てつ国連企画研究委員会第一企画 犬てつ国 ～あなたはこの迷路から脱出できるか～」が、建国記念日である2月11日にいぬやまハチ公園で開催されました。子どもたちが何日もかけて準備し、当日は、朝早くから現場の設営も自分たちで行ったそうです。一からとことん話し合いを重ねながら、立派に最後までやり遂げたことが良い体験になったことを、ハチカグ(株)さんもとても喜んでくださったとのこと。次の連携の話も拳がっているようで、展開を注目していきたいと思えます。

体験型
マルシェ企画
ココトモファーム

子どもたちへの 遊びの場づくり

市民活動団体
昭和のあそびパーク
実行委員会



「犬南グリーンの会」の皆さんに、出店や、当日の運営に参加していただきました。

イベントの 運営サポート

市民活動団体
犬南グリーンの会

参加者からは、「たくさんの子どもさんたちの笑顔に触れ、私たちが元気を頂きました!」、「名古屋経済大学の学生や、地域の方、出店者の皆さんなど、沢山の方と作り上げるマルシェは非常に楽しく、栗栖地区の良さを再発見出来た1日でした。」との声もあり、将来的には、継続事業として定期開催できたらと考えているそうですので、続報に期待しましょう!

9月の初め頃、ココトモファームさんより、「子どもたちがすくすく育つこと」をテーマに、栗栖地区で体験型マルシェを計画され、一般企業の出店者や市民活動団体にも関わってもらいたいイベントにしたいという相談がありました。また、子ども向けの体験ワークショップや、障がい者の方々によるブース出店も考えていて、ブース割や規模感も現場を見てアドバイスが欲しいとのことでした。市民活動団体や、地域資源バンク登録者に呼びかけを行い「昭和のあそびパーク実行委員会」、

その後の展開

初のマルシェを開催したこの経験を活かし、市民活動団体さん含め多くの犬山市民が楽しめる企画をまた開催していきたいと話されていました。今後は、ココトモファームが拠点を置いている今井地区でも里山を活かしたイベントを行いたいと思ひ、家族みんなで楽しめる体験型のものを考えているとのことでした。ますます今後の展開が楽しみです。

犬山市内でフリースクールを立ち上げ、活動している団体「このゆびとまれ」より、脱穀機を探しているという相談がありました。



フリースクールでの体験活動

このゆびとまれ

足踏み脱穀機の提供

夢発心



情報収集を行なったところ、栗栖地区で活動する「夢発心」さんが足踏み脱穀機を所有しており、相談内容を伝えたところ、譲っていただけることになりました。団体の皆さんは「教科書や博物館でしか見たことがなかった!」、「はじめて見たよ!」と大喜び! つながったご縁に、協働プラザ

スタッフもワクワクしました。さらにそのご縁は続き…、栗栖地区で野縁公苑に芝桜を植える活動に参加したりと、交流が続いているようです。今後の活動も目が離せませんね。

※「このゆびとまれ」は、犬山の子どもが「犬山で育つ」こと、そして一人一人に「自ら学ぶ力」を育むことを大切にされていて、市内にある畑での体験活動にも取り組んでいます。

その後の展開

実際に自分たちで育てたイネを脱穀し、出来上がった「おこめ」は、塩むすびや五平餅にして食べたり、いつもお世話になっている田畑の地主さんに届けたりもしました。そしてその後、夢発心さんが所属し竹林整備等の活動をされている「ミラマチ栗栖」さんとも交流が生まれ、野猿公苑に芝桜を植える活動に参加されました。今後も地域の方との触れ合いやつながりを大切に、活動を続けていきたいと話されていました。

ママを応援する
社会保険労務士

柴垣 望さん

ホームページ制作

加藤 誠さん

ジムジム相談会にて、柴垣さんより「活動を始めるにあたり、ホームページがあつたらいい」との相談があり、地域資源バンク登録のあった加藤さんを紹介し、まずはZoomでの顔合わせとなりました。

柴垣さんは、「社会保険労務士」について、詳しくは知らない加藤さんに、業務内容や今後行っていきたい取り組みを説明する中で、言語化することの難しさを知り、同時に自分の頭を整理し直すことが出来たそうです。

またホームページを制作した加藤さんは、活動に必要な基礎の部分を作ることができて良かったと話していました。困っている人のサポートをしたいと話されるお二人の今後の活躍が楽しみです!



その後の展開

ホームページを手掛けた加藤さんは、卒業制作としてこの案件に取り組み、制作から納品まで完了したことにより課題がクリアでき、無事に卒業されたという嬉しい報告がありました! 相手の伝えたいことと自分の理解をすり合わせる作業はとても大変でしたが、貴重な経験になったそうです。今後はさらに経験を積むため、企業への就職や、自身が参加している市民活動団体のホームページ作りにチャレンジし、今後は完成図をイメージしやすくするために、ホームページのパターン集を作っていければと話されていました。

FS@犬山より

〈対話から生まれた活動の紹介〉



「うち作りを通して、まちづくりや地域の活性化をしたい」という思いに共感した仲間と、話し合いを重ねていきました。現在竹林整備も含めた市民活動団体を立ち上げられ、地域でどのように展開していくかを模索されています。



「子どもたちに自分の将来を考える機会を」という思いから集まったメンバーが、市民活動団体を立ち上げ、地域で活躍している大人を講師に迎えたオンライン講座を開催されました。気軽に話が聞ける場として、今後の企画を検討されています。

専門相談業務より

不登校関連団体の連絡会

犬山市近郊で不登校支援を行う個人や団体間の横の繋がりを作り、子どもたちのための連携をサポートしています。

障がい者雇用ネットワーク会議

近隣市町村の職業リハビリテーションの充実に向けた、事業所同士のつながる場作りをサポートしています。

買い物支援

市民活動団体としての活動休止を受け、困っている人達への支援を続けようとするメンバーの活動をサポートしています。

